令和７年４月８日（火）訪問演奏の報告

（グループホームひびきの家安城）

１　日　時　　令和７年４月８日（火）　午後２時００分～２時４０分

２　場　所　　グループホームひびきの家安城（安城市東端町）

３　内　容　　初めに、春の曲「早春賦」。静かな会場で、いきなりのオカリナ演奏です。皆さん、今の季節に合った歌を楽しんいるようです。

挨拶の後、春の美しさを感じる曲「花」です。隅田川の美しい桜が浮かんできます。続いて、「手のひらを太陽に」。元気いっぱいの歌詞に、大人も勇気づけられます。

前半の最後２曲「バラが咲いた」「いい日旅立ち」。いずれの曲も、柔らかく優しいメロディーです。会場の皆さんも、心地よさそうです。「きれいだねえ」の声、最前列の方から届きます。

ここで、紙芝居「はなさかじいさん」です。多くの方が、ご存知のお話です。久しぶりの紙芝居、昔話の世界で、涙ぐむ姿もありました。

後半、「五番街のマリーへ」でスタートです。長年にわたり、多くの人に愛され続けた曲です。しっとりとした気持ちが広がります。

「北上夜曲」。美しい情景が浮かんできます。

続いて、「新世界より（遠き山に日は落ちて）」。星空、涼しい風など、心地よい情景が、歌われています。

最後の３曲です。「夢路より」。大変美しい旋律に、皆さん、心地よさそうな雰囲気です。

　テレビドラマ「北の国から」の主題曲。映像を浮かべて、心地よさそうに聞いて見える方もありました。

　「いのちの歌」。オカリナの豊かな響きが会場に広がったように感じました。皆さん、満足そうでした。

４　プログラム

①早春賦　②花　③手のひらを太陽に　④バラが咲いた　⑤いい日旅立ち

紙芝居「はなさかじいさん」

⑥五番街のマリーへ　⑦北上夜曲　⑧新世界より（遠き山に日は落ちて）

⑨夢路より　⑩北の国から　⑪いのちの歌

５　参加者の声から

1. 懐かしい曲が、オカリナの音色で奏でられ、心地よく耳に入ってきました。また、演奏を聴かせていただきたいと思いました。
2. 解説付きで、とても分かり易く、すばらしい演奏でした。紙芝居も感情がこもっていて楽しかったです。また、聴きたいと思いました。
3. 普段はお風呂を楽しみにされている利用者で、歌のレクリエーションの際は歌わずじっとされている方が、「この曲知ってるよ」と、話しかけて下さいました。昔のことを思い出させてくれる力が、音楽には、あるんじゃないかなと、感じました。
4. ボランティアの演奏の方が来て下さっても、いつもは「はよ、終われ」「帰って寝る」などと、おっしゃる利用者様が、静かに聴いておられたので、驚きました。
5. オカリナの生演奏も素晴らしかったですが、紙芝居の「花さかじいさん」を久しぶりに聴き、感動して涙が出てきました。
6. たくさん練習されたと思います。知っている曲ばかりで、とても楽しめました。また、演奏しに来て下さい。待っています。（代筆）
7. いつも落ち着きない方が、オカリナ演奏に聴き入っておられ、口ずさんでいらっしゃいました。心を和ませてくれる音楽なんだなと感じ、嬉しい気持ちになりました。
8. オカリナ演奏、ありがとうございました。どの曲も知っている曲ばかりで、春を感じられて、とても感動しました。また、紙芝居の「花さかじいさん」は、久しぶりに聴かせてもらい、涙が出てきました。また、お願いします！！

５　写真





